

【建築付帯設備計画】環境保全・環境負荷低減 (A4 縦書き 4 枚以内)

○環境保全・環境負荷低減について記載すること。

- ・ ZEB 技術については、必要なエネルギー量を減らすパッシブ技術を積極的に採用し、建築的な取り組みや省エネルギー、環境への負荷の少ない設備等の導入を検討するとともに、脱炭素や環境保全性、経済性に配慮した熱源、エネルギー等を提案すること。
- ・ ZEB Ready では評価に含まない創エネルギー技術 (出力容量 50kW 以上)、及び蓄電設備 (蓄電容量 10kWh 以上) についても合わせて提案すること。
- ・ 『ZEB』 や Nearly ZEB に近づける提案がある場合は記載すること。

(※該当する□に✓を入れること。)

●建物を、

- ZEB Ready
- Nearly ZEB
- 『ZEB』

とします。

●創エネルギーは、

- 太陽光発電
- 水力発電
- バイオマス発電
- その他 ()

により、

出力容量 () kW の電力を創出し、
蓄電容量 () kWh の蓄電設備を設置します。

●ZEB の概要 (ZEB チャートを含む) は以下のとおりです。

◎疎明資料 (例)

- ・ ZEB の概要資料
- ・ その他、記載した事項を客観的に証明できる書類等